こもろ観光局
本格運営開始

こもろ観光局
KOMORO TOURISM BUREAU

▶滞在プログラム
着る！撮る！シェアする！和装で北国街道フォト町歩き

発進から約一か月、「小諸らしさ」を追求・具体化しています

統一した情報発信

「詩情あふれる高原の城下町」を小諸観光のイメージに

こもろ観光局では、**ウェブサイト**、**フェイスブック**、**ツイッター**を活用した情報発信を始めています。特にウェブサイトは、若い世代にも訴求するポップなデザインを取り入れています。また、日本で唯一の穴城（お城が城下町よりも低い位置にあるお城）であるといわれる小諸城址 懐古園、及び、小諸が唯一の登山道口である浅間山を大きく取り上げることで、小諸観光の二大資源を全面的にアピールしています。

小諸の観光コンセプトである**「詩情あふれる高原の城下町」**に沿って統一されたイメージでの発信を強化していくべく、ウェブサイトなどの情報発信ツールは今後継続して強化を図っていきます。

ロゴマーク

小諸の原風景を可視化

ロゴマークの六角形は、訪れる方の人生をそっと彩る（＝スケッチ）**「スケッチ文化都市・小諸」**をイメージした鉛筆の形態を表現しています。色は、日本文化の代表色でもある紺青（こんじょう）を使っており、小諸の豊かな歴史を伝えます。枠の中には、小諸の象徴である「噴煙上げる浅間山」・「小諸城址 懐古園」・「清流千曲川」を配置し、一目で小諸の原風景を感じていただけるロゴマークです。たくさんの方に「いいね！」とおっしゃっていただいています。

こもろ観光局
KOMORO TOURISM BUREAU

コンセプト

詩情あふれる高原の城下町

小諸という地域は、古くから浅間の噴煙、清流千曲川に代表される自然豊かな大地に育まれ、そこに築かれた城下町は、島崎藤村や高濱虚子などの多くの文豪や詩人が詩に表したくなるまちです。

小諸に訪れた人々の心に残るスケッチ（情景）を体感してもらい、これからの人生をもスケッチ（心をそっと彩る）するきっかけになるよう、また、小諸に住む人々がこのすばらしい小諸を将来にわたって繋げていくために、街並みや景観、そして地域を守っていく、観光地域づくりをめざします。

こもろ観光局の事務所
「小諸観光交流館」
所在地：大手一丁目６番16号